

会山行報告

日程 : 2010年1月24日(日)
形態 : アイスクライミング
場所 : 日光市(松木溪谷:黒沢)
メンバー: 新海(L)、谷嶋、勅使河原、常谷、鈴木、谷内、松村、小嶋、青木
報告 : 青木

いつもの駐車場に集合し松木溪谷へ向かう。日足トンネルを抜けると粉雪が舞っていて一段と寒さが増したが、ザックを背負い歩き出す頃にはすっかり晴れ渡り、風も穏やかで気持ちがいい。楽しみ半分・不安半分だが、新人の初アイスを祝福してくれているのかも♪

まずはハーネス・アイゼン等を装着して準備する。手袋をしていると(そして、しゃがむとお腹の脂肪がジャマをして)うまく出来ず時間がかかってしまうが、先輩方はさすがに早い。慣れと工夫が必要だと実感。

F1にTRを張ってもらい順番に登っていく。

アックスを打ち込みアイゼンで蹴りこむ。その繰り返しなのだが・・・
新人教育で頂いた資料の『叩かない・蹴らない・頑張らない』というアドバイスを思い出してやってみるが、力んでアックスにしがみついてしまう。足元も不安定でついつい踵が上がり気味に。なかなか基本通りにはいかないものだ。

新海さん、勅使河原さんは階段を上るかのように軽やかに登っている。余計な力が入っていないのだろうな～と見惚れてしまう。

F2にもTRを張ってもらったので、交代でクライミング・ビレイ・懸垂下降を練習した。ロープが凍っていて滑らず、ビレイするにも悪戦苦闘。ロープを引くのに夢中でクライマーの動きを見ていなかったり、離してはいけない手が離れてしまったりと、自分のできなさを痛感。

他の3人はクライミングもビレイも上手に出来ているので、これからの練習で頑張っていこうと思う。

練習するうちに少し慣れてきたのか、アックスやアイゼンが一度できまる時もあり嬉しかった。3本目になると脚も腕もプルプルしていたが、「あと少し！」と励まされて何とか登りきる。達成感と、普段の山登りとは違った視点から見る景色がとても新鮮で感動♪♪

谷嶋さん、常谷さん、鈴木さんはさらに上の滝を登っており、私達の場所からはその勇姿を見ることが出来なかったのが残念でしたが、存分に楽しんでいたのでないでしょうか。

クライミングの知識も経験もなく、あるのはやる気だけの新人でしたが、道具の準備や事前講習、山行中の指導などなど先輩方のお力添えで、ケガすることもなく貴重な経験ができました。

参加する機会を与えていただき本当にありがとうございました。

以上